

都道府県別賞一等

生命保険の重要性

佐賀県 鳥栖市立田代中学校 二学年

高須 陽子

生命保険ってなんだろう。私は、この作文を書こうとしてまずそう思った。今までに私は生命保険に触れる機会があったわけでもないし、生命保険がどんな役割をするかも知らない。そこで私は生命保険について調べることにした。

まず、調べる前に自分で考えてみることにした。私がまず最初に思い浮かんだのは、死んでしまったらお金がもらえるもの、だった。ドラマなどで言葉だけでできたり、最近ではコマーシャルで見たりもしたような気がする。少し意外だった。思ってみれば案外、目にしていたからだ。

そして、生命保険のことがだんだん気になり始めたので、調べてみた。調べてみると、生命保険は死んでしまったときだけでなく、病気やケガで入院するときにも保険に入っていれば、お見舞金がでるらしい。人はいつ病気やケガをするかは分からない。だから人は、もしものときのために生命保険に入っているのだなと思った。よく考えてみれば、ガンや高額医療の病気はたしかに増えている。交通事故は、車の性能がいくら上がってもなくならないような気がする。でも、「もしも」は「もしも」だよなとも思う。だから、最後にお父さんに聞いてみることにした。私は

「お父さんは生命保険に入ってるの？」

と聞いてみた。そしたら、お父さんは言った。

「入ってるよ。自分に自信がある訳じゃないから。」

実は調べていて、ずっと気になっていたことがあった。それは生命保険は親からの愛という言葉だった。最初は意味が分からなかったが、今になって分かった気がする。私のお父さんも、自分の病気やケガなどで周りの人や家族に迷惑をかけたたくないことが分かったからだ。そう思うと、なんだか誇らしい気持ちになった。

この作文を書くにつれ、私は生命保険の役割や大切さが分かった。生命保険は、いつ起こるかも分からない死という恐怖や不安から私達家族までも安心して暮らせるようにしてくれる重要な役割を持っているのだと分かった。そして、この作文に書いてはいないだけで、他にもたくさんの事をしているということも分かった。私が大人になって、家庭を持っていなくても、周りや家族を心配させないためにも生命保険に入っておくべきだと思った。